

密にして激なる、充実の5期20年

前大野城市長 井本宗司



2005年（平成17年）に市長就任して5期、市民各位や市職員、支援者の皆様に支えられた20年でした。

振り返ると様々なことが思い浮かんできますが、「光陰矢の如し」です。在任中にいただきましたご指導・ご鞭撻に対し、衷心より感謝申しあげます。市長職には就業規則はなく、常にスタンバイをしておかなければなりません。多くの団体からのご案内には、できるかぎり現場に向き期待に応えることが市長の務めと銘記して頑張ってきました。

選挙で与えられた任期は4年であり、20年とはその積み重ねです。福岡県議会議員時代も含め、「日々が任期」の覚悟で、職業としての政治家像を追い求めてきました。とはいえ、市長職の一日のスケジュールは密であり、想像以上に激務でした。就任当初は、自治体経営とは何かを自問自答しながら、職員の協力も得て「週末窓口サービス」や「総合窓口・まどかフロア」など、市役所サービスの改善に力を尽くしました。2期目以降

は、「古代山城サミット」の開催や「大野城心のふるさと館」の建設など歴史資産の検証、「れいわ子ども情報センター」のリニューアルや、「ユープレ」開設など子どもたちの居場所づくり、さらには「男女共同参画条例」の施行や男女平等推進センター「アスカラ」のリニューアルなど、多様化する社会変化に対応するための施策を進めました。また、念願の連続立体交差事業が実現をし、新たなにぎわいの拠点として、高架下空間のこれからの進捗を見ることができると嬉しにかぎりです。

特に、私が職員と共に取り組んできたのは、超高齢社会に向けた地域ぐるみの態勢づくりと、必ず起こるであろう大震災など災害への万全の備えです。準備を先送りすることなく、今、先行投資をしながら先手を打っておかなければ未来に禍根を残すことになるからです。

今後は、市民と職員により創り上げてきた大野城市が誇る「コミュニティによる共働のまちづくり」に一段と磨

井本市政 20年の歩み

- 2005年 9月 井本市長就任（第4代大野城市長）
- 11月 ねんりんピックふくおか2005ペタंक競技大会開催
- 2006年 2月 大野城跡、日本百名城に認定
- 4月 大野城市男女共同参画条例施行
- 2007年 10月 「第27回緑の都市賞」内閣総理大臣賞を受賞
- 11月 「コミュニティのまち大野城」総務大臣賞を受賞
「週末窓口サービス」開始
- 2008年 5月 総合窓口「まどかフロア」オープン
- 2009年 2月 牛頸須恵器窯跡、国史跡に指定
- 4月 高齢者移動支援「ふれあい号」運行開始（南地区）
- 2010年 9月 古代山城サミット（日本最古の山城まつり）開催
「大野城」のキャラクターが「大野ジョー」と「タスケ」に決定
- 2012年 4月 市制施行40周年
大利アンダーパス開通
- 10月 人間空気イスでギネス世界記録™達成
- 2013年 4月 男女平等推進センター「アスカラ」リニューアルオープン
- 11月 乙金多目的広場オープン
- 2014年 8月 水城・大野城・基肆城1350年記念式典
- 11月 水城跡フェスタ開催・水城ゆめ広場オープン
- 2015年 3月 飯塚大野城線・現人橋乙金線開通
- 12月 水道事業給水開始50周年記念式典
- 2016年 8月 人口10万人突破